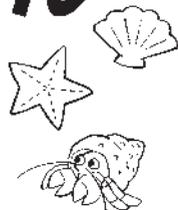


あか ジュゴンの赤ちゃん マリアム

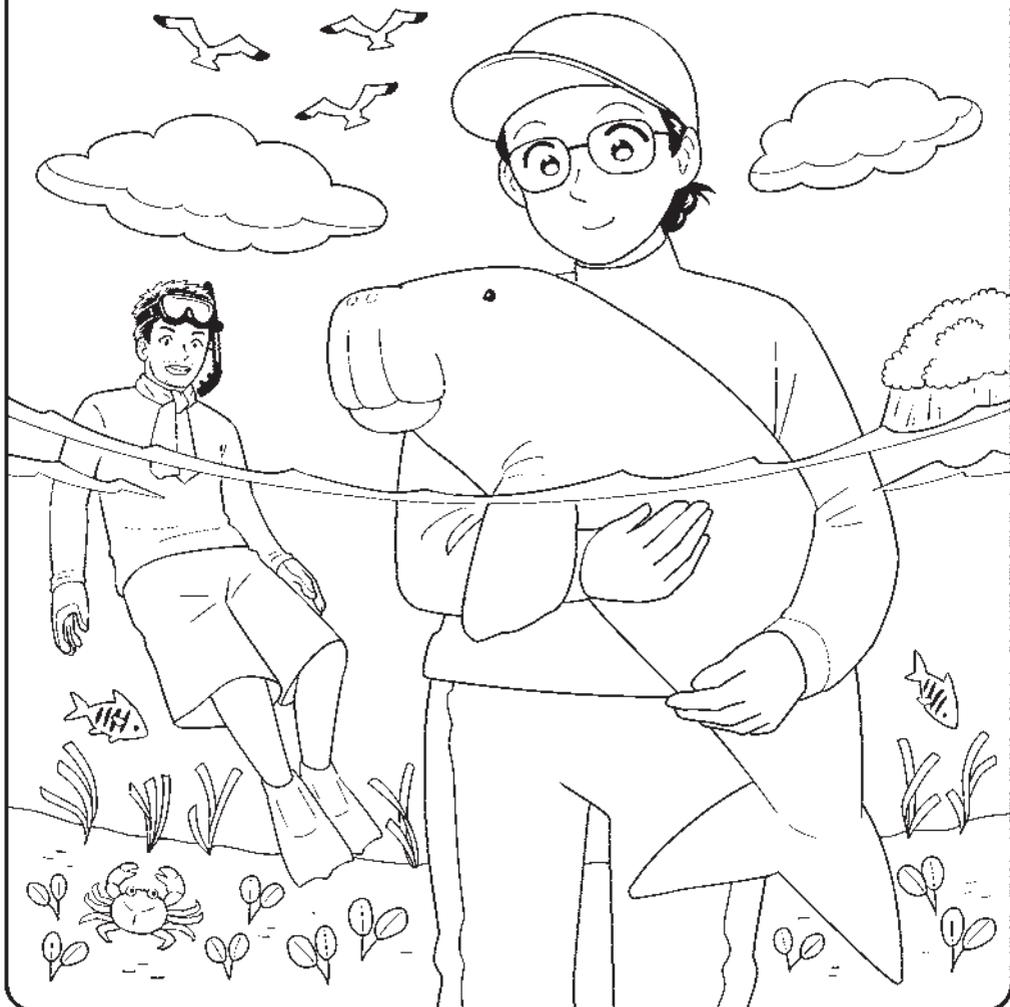
~ Lady of the sea ~



あか ジュゴンの赤ちゃん マリアム



~ Lady of the sea ~



●好きな色にぬってね!

このマンガは、^{じっさい}実際に^おタイで起きたできごと^{もと}に基づいています。

^{まんが}漫画に^{とうじょう}登場する^{ジュゴン}の「^{マリアム}マリアム」という^{なまえ}名前^{いみ}の意味は、

「Lady of the sea (海^{うみ}の^{きふじん}貴婦人)」です。

^{ほんさくひん}本作品は、^{かいがい}海外の^{こどもたち}こどもたちにも^よ読んで^{もらう}もらうために、^{ひだり}左から

^よ読み^{すす}すすめるスタイルになっています。

シナリオ ささきあり

作 画 楠美まゆら

監 修 市川光太郎 (京都大学フィールド科学教育研究センター
/ マナティー研究所)

阿部朱音 (京都大学大学院)

制作

助成



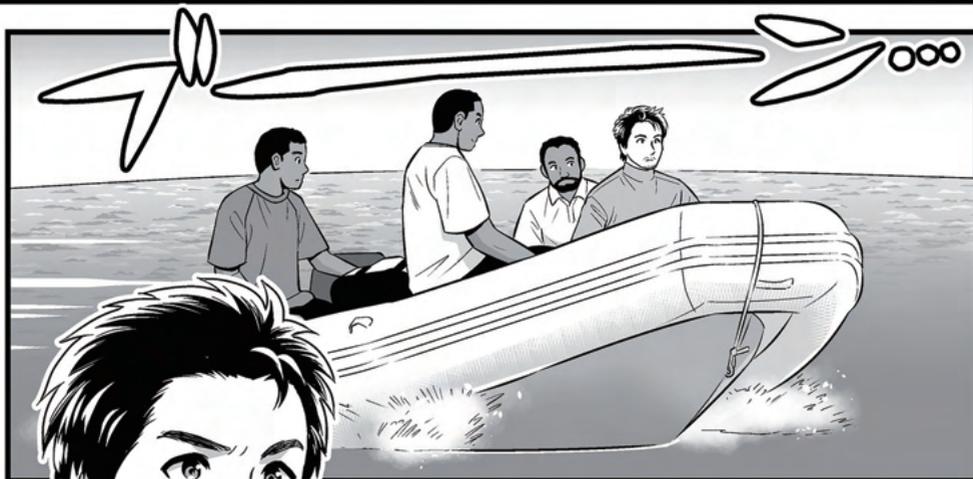
マナティー研究所

Japan Manatee Education and Study Lab.



MITSUBA

アフリカ スーダン



京都大学
フィールド科学教育研究センター
海洋生態系部門 准教授

いちかわ

こうたろう

市川 光太郎



ふか
深いところ^にに逃げないよう、
あさせ
浅瀬^おに追いこんでくれ!



いき
息^{すいめん}をしに水面^{すいめん}
あがってきた!

いまだ
行くぞっ!



ゴッ
ゴッ

やったーっ!

ほかく
ジュゴンの捕獲^{ほかく}
せいこう
成功したぞ!

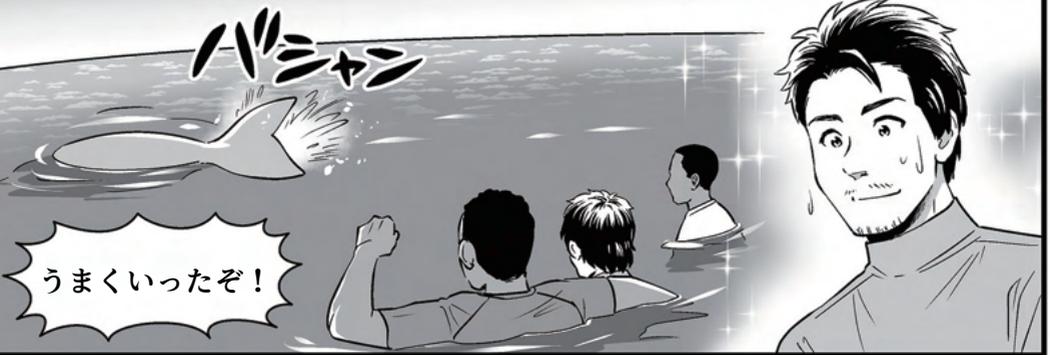


メス。
たいちょう
体長2.9メートル



つかれさせて、ごめん。
とらせてもらったデータで
きみたちのこと、
ちゃんとしりたいんや。

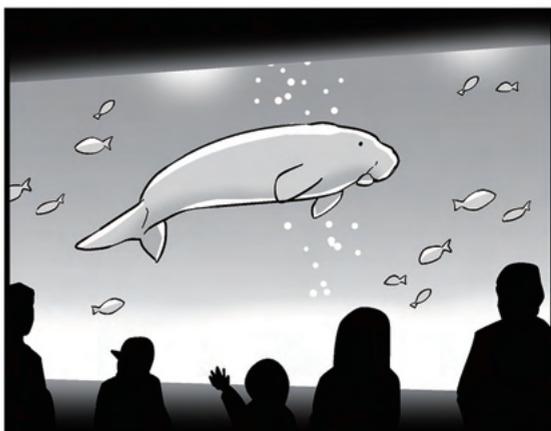
どうか
きょうりよく
協力してな



うまくいったぞ!

あのときは、こんなに^{なが}長く
ジュゴンとつきあうことにな
るとは^{おも}思わなかった…





あらー、こんなに
ぶちやいくなんや…



ねったい
ジュゴン^{ねったい}は熱帯から
あねったい うみ せいそく
亜熱帯の海に生息する。



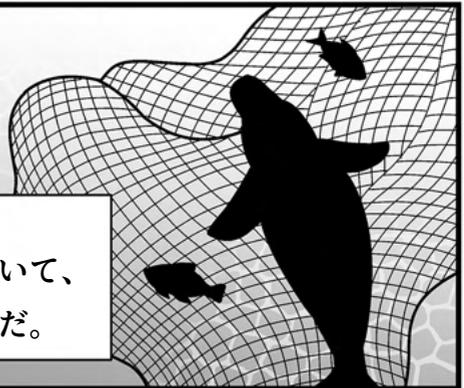
ジュゴンのすんでいる地域

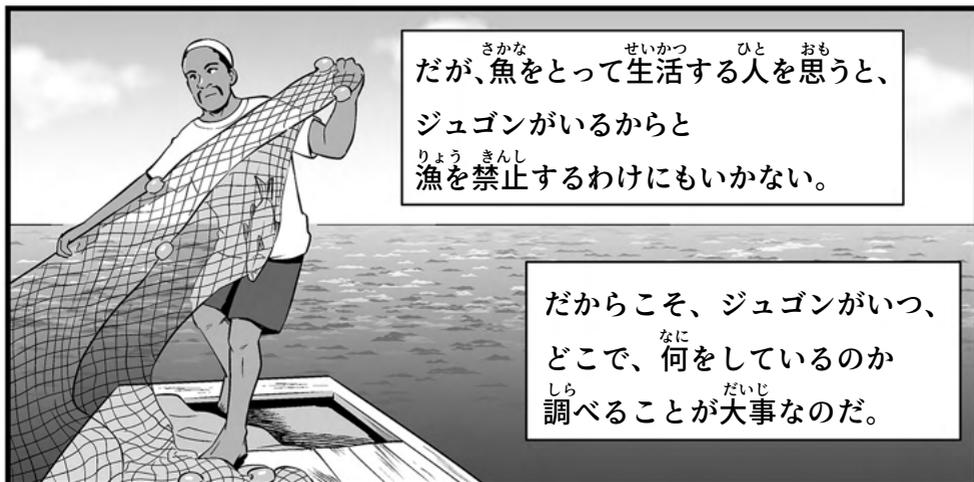
かいそう た
海草^{かいそう}を食べ、ときどき
すいめん はな だ
水面^{すいめん}に鼻を出して
こきゅう
呼吸^{こきゅう}するが、



さかな あみ
魚^{さかな}をとる網^{あみ}に
まちがって入^{はい}ってしまうと、
いき し
息^{いき}ができなくて死^しんでしまう。

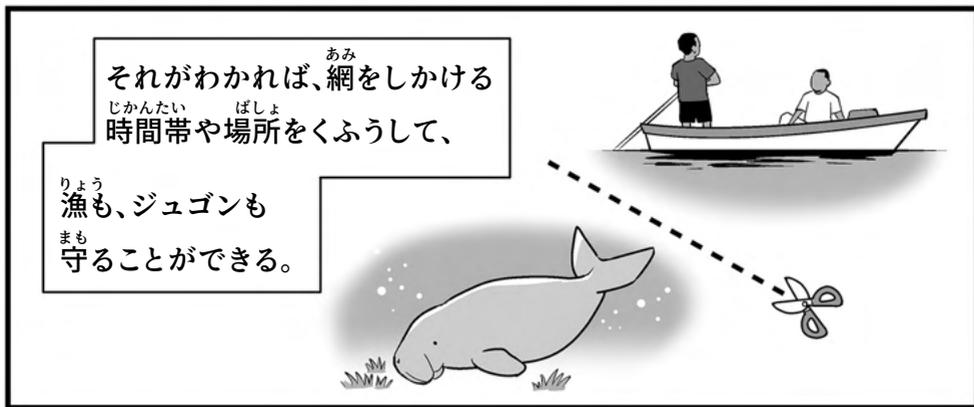
せかいじゅう せいそくすう
世界中^{せかいじゅう}で生息数^{せいそくすう}がへっていて、
ぜつめつ しんばい
絶滅^{ぜつめつ}が心配^{しんばい}されているのだ。





だが、^{さかな}魚をとって^{せいかつ}生活する人^{ひと}を^{おも}思うと、
ジュゴンがいるからと
^{りょう}漁を^{きんし}禁止するわけにもいかない。

だからこそ、ジュゴンがいつ、
どこで、^{なに}何をしているのか
^{しら}調べることが^{だいじ}大事なのだ。



それがわかれば、^{あみ}網をしかける
^{じかんたい}時間帯や^{ばしょ}場所をくふうして、

^{りょう}漁も、ジュゴンも
^{まも}守ることができる。



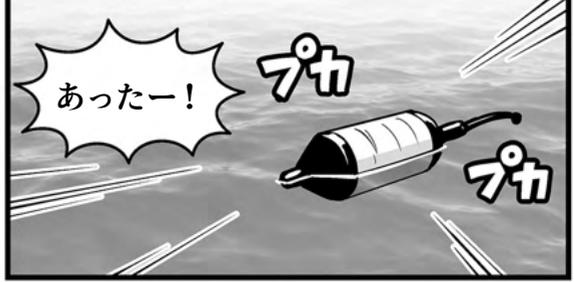
ま、ぼくはただ、
ジュゴンのことが
知りたいだけやけどな

ジュゴンに^と取りつめた^{そうち}装置は、
^{すうじつご}数日後に^{じどうてき}自動的にはずれて、
^{かいめん}海面に^う浮かんでくる。

それを^{かいしゅう}回収して、
データを
^{ぶんせき}分析することで、
ジュゴンの^{こうどう}行動が
わかるのだ。

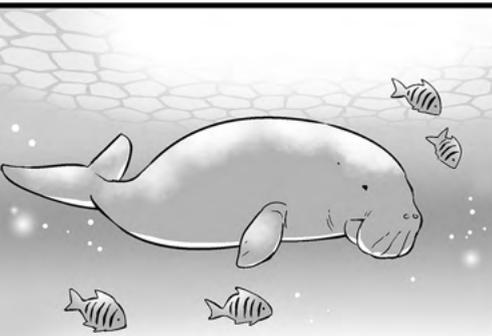


どこやー^{きざい}機材、
でてこーい



はじめてこの鳴き声を
聞いたときは感動したなあ

はじめの鳴き声を聞いたときは感動したなあ



鳴き声、泳ぐ音、
海草を食べる音、

その時間、いる位置、もぐっている
深さのデータを合わせることで、
ジュゴンの行動がわかる。

けっか さかな
その結果で、魚とりの
あみ
網をしかけるところや
きんし ばしょ
禁止する場所を
き
決めることができるのだ。



…ということで、
あみ ばしょ
網をしかけられる場所は
このあたりになります



まあ、
さかな りょう
とれる魚の量が
減らないなら、
きょうりょく
協力するよ



よかった。
せっきよくてき
積極的ではないけど、
なっとく
納得してもらえた



つきひ
月日はながれ--

かいようえんがんしげんきょく
タイの海洋沿岸資源局
からメールがきてる

ははおや
母親とはぐれた赤ちゃんジュゴンが
ほご
保護されました。調査に来ますか？

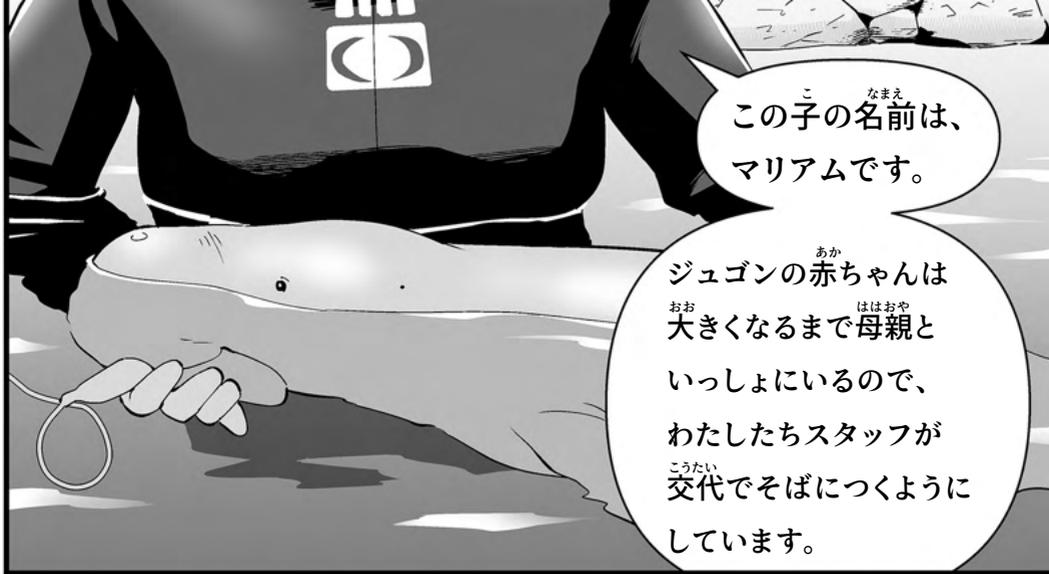
いきます！

タイでは、ジュゴンに
ちよくせつ そうち
直接装置はつけず、
かいてい お そうち
海底に置いた装置で
おと ろくおん しら
音を録音して調べている。

タイ・タリボン島^{とう}
DMCR*の保護施設^{ほごせつ}

かいようけんきゅうきかん けんきゅうきかん ぎょうせいきかん いっしょ ぎょうせいきかん
※DMCRは海洋研究機関。タイは研究機関と行政機関が一緒に、行政機関が

いちばん けんきゅうきかん けんきゅうけつか ぎょうせい しさく ちよくせつ はんえい
一番の研究機関になっている。研究結果は行政の施策に直接反映できる。



この子の名前は、
マリアムです。

ジュゴンの赤ちゃんは
大きくなるまで母親と
いっしょにいるので、
わたしたちスタッフが
交代でそばにつくように
しています。



朝から晩まで、
海水の中で世話して
いるんですか!?
大変でしょう



ええ。
でも、赤ちゃんは
保護してもすぐ
死んでしまうことが
多いので、
なんとか
育てたいんです。



すごい。仕事という以上に
強い気持ちがあれば、
できないことや…



マリアムちゃん、
声をとらせてな



これまで^{けんきゅうたいしょう}研究対象に
とくべつ ^{かんじょう}特別な感情を持たない
ようにしてきたけど



メロメロになったのは
こうたろう
光太郎だけではなかった。



マリアムの^{ようす}様子は、
おな^{ころ}べつ^{べつ}のエリアで
ほご^{ほご}保護されたジャミルとともに、
DMCRのSNSを通じて
タイの^{ひと}人びとに^{つた}伝わっていき、



ついに、タイ王室の^{おうしつ}
シリヴァンナヴァリ・ナラタナ・
ラジャカーニャ^{おうじよ}王女^めの目にとまった。

わたしは、
マリアムとジャミルを
そだ^{そだ}育てるための^{しえん}支援をします！





ジュゴンが長く
生きられるよう、
もっとジュゴンのことを
知って守ろう!

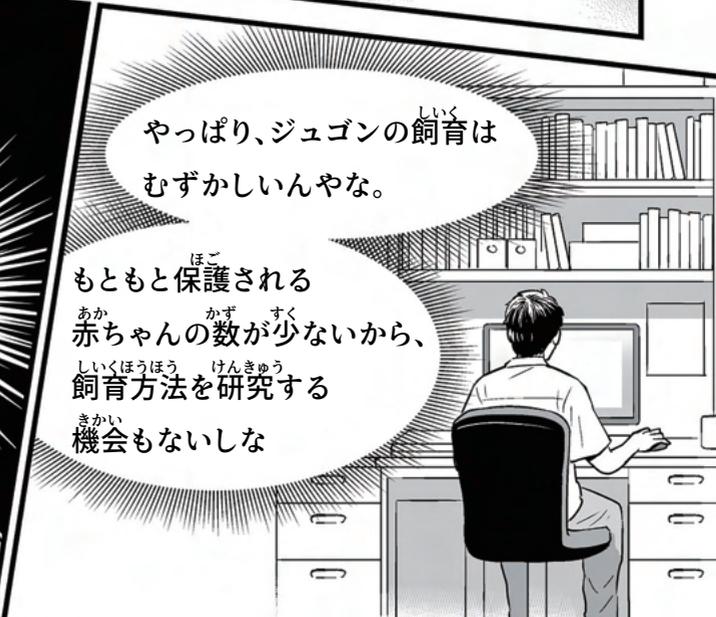


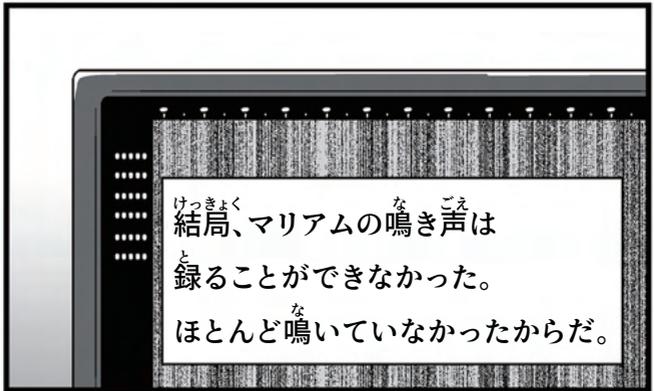
しかし、マリアムは
5ヶ月ほどで亡くなり、
続いてジャミルも亡くなった。



やっぱり、ジュゴンの飼育は
むずかしいんやな。

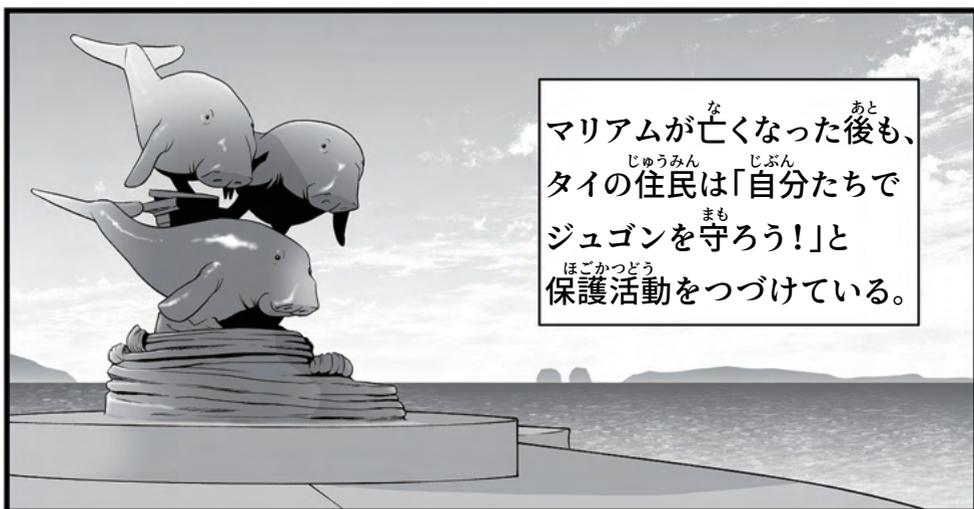
もともと保護される
赤ちゃんの数が少ないから、
飼育方法を研究する
機会もないしな





スタッフの
本気でジュゴンを助けたい
という強い思いが
マリナムに伝わり、

それが多くの人の
心を動かしたんや



マリナムが亡くなった後も、
タイの住民は「自分たちで
ジュゴンを守ろう!」と
保護活動をつづけている。